

第123号

編集・発行

2019・10・22

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17

TEL 0179(22)0262

FAX 0179(23)4146

さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



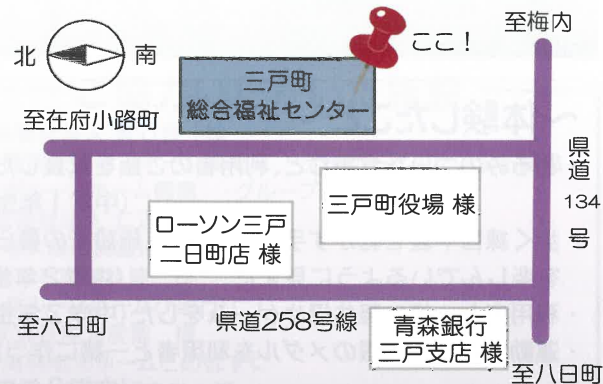
ボランティアスクール 高齢者施設での体験の様子 (R1.8.8)

■ おもな 内 容

ページ

- ボランティアスクールの様子 2、3
- 福祉団体トピックス 4、5
- 三戸町社会福祉大会開催のお知らせ 5
- 子ども福祉スクールの様子
福祉巡回車の贈呈を受ける
赤い羽根共同募金運動について 6
- まちなかサロン
経済的なことでお困りの方への支援制度について 7
- 職員募集 ほか各種お知らせ 8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

特集ボランティアスクール

令和元年8月6日(火)から8日(木)の3日間に渡って、夏の恒例行事となっているボランティア
今回の社協だよりでは、ボランティアスクール特集として高齢者施設での体験の様子や参加者の

事前学習



ベッドメイク



～参加のきっかけ～

- ・ 将来のために、自分が知らないことを学びたかった (中学2年生)
- ・ ボランティアを通じて町のいろいろな人と接したかった (中学3年生)
- ・ 高齢者施設の人達の役に立ちたいと思った (中学3年生)

協同作業



～体験したこと～

- ・ とろみのついた食事など、利用者のご飯を試食した (中学1年生)
- ・ 歩く練習や髪を乾かす手伝いをした。施設での暮らしを楽しんでいるように見えた (中学2年生)
- ・ 利用者と一緒に軽体操やゲームをした (中学3年生)
- ・ 運動会で使う金銀のメダルを利用者と一緒に作った (中学3年生)
- ・ 作ったかき氷を利用者や施設の人が「美味しい!」と食べてくれた (中学3年生)

～感じたこと その1～

- ・ 利用者が喜んで、僕達を歓迎してくれてとても嬉しかった (小学6年生)
- ・ リハビリを頑張って早く家族と暮らしたいと話すのを聞いて、家族と暮らしている私はとても幸せなんだと感じた (小学6年生)
- ・ お年寄りとコミュニケーションをとることが難しかったけれど、施設の人が優しく助けてくれ話やすかった (中学2年生)
- ・ 最初は緊張したけど、だんだん慣れてゲームを通じてお年寄りとの交流が深まった (中学3年生)
- ・ 利用者の人達に気持ちよく使ってもらうために、職員の人達はいろいろなところに気を配っていてすごいなと思った (中学3年生)

語らい



ル ～夏休み、小中高生が高齢者施設でボランティア～

アスクールを開催し、小学6年生から高校3年生、18名がボランティアについて学びました。感想などを紹介していきます。

～感じたこと その2～

- ・ 笑いが飛び交う居心地のよい空間で自分自身も楽しい時間を過ごせた。様々な経験を乗り越えてきたからなのか、おおらかな雰囲気を感じた
(中学3年生)
- ・ 自分達の当たり前で接してはいけないと思い、大きな声で話すなど普段意識しないことも意識した
(中学3年生)

歌集づくり



語らい その2



～ボランティアスクールを終えて～

- ・ 自分の祖父とももっと話をして、病気になったときは助けになりたい
(中学2年生)
- ・ 祖母が老人ホームに入ったとしたら、何度も顔を出して笑顔になって欲しい
(中学3年生)
- ・ これから高齢者が更に増えていくなかで、高齢者と接した体験を生かせるよう、周囲に目を配りたい(高校3年生)

修了証交付



～感じたこと その3～

- ・ 帰りに握手をした利用者の手がとても温かった
(中学3年生)
- ・ 高齢者施設での仕事は大変そうだけど、利用者の笑顔が励みになるのじゃないかと思った
(中学3年生)
- ・ 心から高齢者のことを思っているのだと、笑顔で仕事をする職員の皆さんの姿を見て思った
(高校3年生)

カルタ



ご協力いただいた施設

- 社会福祉法人 恵心会 様
 ・特別養護老人ホーム鶴亀荘 ・デイサービスセンター鶴亀
 ・グループホーム鶴亀 ・グループホームしろやま
 社会福祉法人 仁正会 様
 ・老人保健施設ほほえみ三戸
 株式会社南部住建 様
 ・グループホームひまわり
 株式会社東北産業 様
 ・有料老人ホームこのはずく
 倉石ハーネス株式会社 様
 ・ショートステイ デイサービスセンター桜

ご協力ありがとうございました!

三戸町シニアクラブ連合会

第45回三戸町シニアスポーツ大会 優勝は大舌・目時合同チーム!

8月2日(金)、第45回三戸町シニアスポーツ大会を町民体育館で開催し、町内各地区の単位老人クラブ11クラブが参加、複数のクラブによる合同チームを含む8チーム112名が11種目で熱戦を繰り広げました。

令和初の栄冠を手にしたのは大舌・目時合同チームの皆さん。第1種目の豆ひろいレース、第2種目のボウリング競争を終えた時点で今大会総合3位の豊川豊栄会に次ぐ2位につけると、第3種目の輪くぐりレースで豊川豊栄会に並び、第4種目で逆転。その後は追いつかるライバルチームを退け、1度も1位の座を譲ることなく優勝。

「まさか優勝できるとは思っていなかった、嬉しい」と大舌・目時合同チームの皆さん、自然体でいたからこそその優勝だったのかもしれません。

優勝した大舌・目時合同チームの皆さん、おめでとうございます。そして参加された選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。

三戸町シニアクラブ連合会では、本大会の各競技で優秀な成績を残した選手を中心に選抜チームを組織し、10月4日に五戸町で行われた第41回三戸郡老人スポーツ大会に挑んできました。その模様は次号の社協だよりでお知らせします。

結果(第3位まで)

優勝 大舌・目時合同チーム
準優勝 六日町百寿(ひゃくじゅ)会
第3位 豊川豊栄(ほうえい)会



ラグビーボールを使ったブタ追いレース



熱戦を繰り広げた輪くぐりレース



優勝した大舌・目時合同チームの皆さん

三戸町シニアクラブ連合会は、町内各地区の単位老人クラブで組織された連合組織です。スポーツ大会やパークゴルフ大会など身体を動かす行事をはじめ、各種研修や旅行、清掃奉仕などの社会貢献にも力を入れています。入会を希望される方はお住まいの地区の老人クラブまたは社会福祉協議会にお問い合わせください。

三戸町シニアクラブ連合会 クラブ数：20クラブ
(H31.4.1現在) 会員数：630名(男性238名、女性392名)

三戸町身体障害者福祉会

三戸中学校の生徒と障がい者がレクリエーションで交流を深める

8月5日（月）、社会福祉協議会と身体障害者福祉会の共催による、中学生と障がい者の交流会を三戸町総合福祉センターふくじゅそうで開催し、三戸中学校の生徒16名と障がい者10名が混合4チームに別れ、ニュースポーツを中心としたレクリエーションで交流を深めました。

当日はチーム内で積極的にコミュニケーションをとる場面や対戦結果に一喜一憂する場面も多く見られ、笑顔の絶えない交流会となりました。



参加者とスタッフが笑顔で記念写真

第27回青森県障害者スポーツ大会で選手3名が入賞

8月25日（日）、第27回青森県障害者スポーツ大会が青森市の県総合運動公園陸上競技場で開催され、三戸町身体障害者福祉会からは3名の選手が参加し、出場した3種目すべてで入賞を果たしました。

大会結果

- 工藤 匡史 さん（100m走 第1位）
- 村中 博光 さん（立ち幅跳び 第2位）
- 水梨 文夫 さん（フライングディスク 第1位）



フライングディスクで優勝した水梨さん

会員は随時募集しています。入会を希望される方は社会福祉協議会の下記担当までお問い合わせください。年会費1,500円

三戸町身体障害者福祉会
(H31.4.1現在)

会 員 数：20名(男性15名、女性5名)

第48回三戸町社会福祉大会 11月8日(金)開催

タイムスケジュール

- 12:00 会場オープン
- 12:45 開会
- 12:50 講演
- 14:10 休憩
- 14:30 アトラクション
- 14:40 福祉の意見発表
- 15:00 大会式典
- 16:20 閉会

講演 12時50分～14時10分

いつまでも自分の足で歩くために
～健康づくりの主役は『あなた』です～



学校法人 臨研学園
東北メディカル学院
理学療法士

桜田 由紀子 先生

入場無料、事前申し込み不要 お気軽にお越しください

子ども福祉スクールを開催

9月4日（水）、子ども福祉スクールを開催し小中一貫三戸学園三戸小学校の3年生児童58名が体験を通じて高齢者福祉について学びを深めました。

当日は高齢者疑似体験として、ゴーグルと手袋を着用して高齢者の物の見え方や手指の感覚などを体験した他、車椅子の乗車と介助を体験しました。

参加した児童からは「体験で学んだことを生かしておじいちゃんやおばあちゃんに接していきたい」と感想が聞かれました。



文字の見え方や紙のめくりづらさを体験

福祉巡回車の贈呈を受けました

本会では、（一社）生命保険協会青森県協会（依田英之会長）様から福祉巡回車1台の贈呈を受け、9月25日（水）にテープカットと贈呈式が行われました。

この贈呈は社会貢献の一環として1991年から県内の各社協に行われているもので、本会では過去1992年に贈呈を受けており、今回が2度目の受贈となりました。

関係者の皆様に対し改めてお礼を申し上げるとともに、福祉巡回車を活用し一層の地域福祉の推進に努めて参る所存です。



依田英之生保県協会会長（左）からキーのレプリカを受け取る本会会長関向文男

赤い羽根共同募金運動へのご協力をお願い

例年、共同募金運動にご協力をいただきありがとうございます。今年も10月1日から翌年の3月31日の6ヶ月間、全国一斉に募金運動が行われています。町内会の班長さんが赤い羽根を持って、皆様のご自宅に訪問いたしますので、ご協力をよろしくお願い致します。

■共同募金のしくみ

共同募金は、地域の福祉団体等からの助成の申請を基に助成計画を立案し、その計画に基づき、助成事業に必要とされる目標額を毎年定めています。つまり、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額を事前に定めてから、寄附を募る「計画募金」です。

募金による助成には、市区町村での活動を応援する地域助成と、市区町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する広域助成があります。全国的な統計では、地域助成と広域助成の一部を合わせて、集まった募金のおよそ7割が募金をいただいた地域で使われています。残りの3割は市区町村を越えた広域での活動や災害時の備えのためなどに使われています。

■三戸町では、子どもの生まれた世帯に対する紙おむつ代等の購入費用の助成や、社会福祉大会の開催、ひとり親家庭や在宅で介護をしている人への支援などに使われています。



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金



まちなかサロンに遊びにきませんか？

三戸町総合福祉センターふくじゅそう（※社会福祉協議会がある建物です）の地下1階で、月曜日から金曜日まで、どなたでも遊びに来られる、まちなかサロンを開設しています。

編み物や手芸など、ご自分の趣味を行う場所として、またお喋りや、仲間づくりの場所としてぜひご利用ください。

事前の申し込みや、利用料金は不要です。

まちなかサロン開設時間

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10時～15時	10時～15時	12時～15時	12時～15時	10時～15時

※水曜日と木曜日の午前中は、いきいき百歳体操に使われていますので、サロンは午後からとなります。

経済的なことでお困りの方への支援制度について

社会福祉協議会では、経済的なことでお困りの方に対する様々な支援を行っております。おひとりで悩まず、まずはご相談ください。

◇生活福祉資金貸付事業

青森県社協が行う貸付制度で、三戸町社協が相談、申請の窓口となっています。低所得の方や高齢の方、障がいのある方の生活を経済的に支え、世帯の自立と安定した生活を続けられるように支援します。

資金の概要	貸付限度額
失業等で生活を再建するために必要な継続的な費用	単身 月15万円以内 2人以上 月20万円以内
緊急的に必要な少額の費用	10万円以内
賃貸住宅の入居費用（敷金、礼金等）	40万円以内
債務整理や滞納している公共料金等の立て替え費用	60万円以内
福祉用具等の購入費用、障害者用の自動車の購入費用	580万円以内
病気や怪我などの療養に必要な経費、療養中の生計維持のための経費	580万円以内
高校、専門学校、短大、大学への入学に必要な経費	50万円以内
高校、専門学校、短大、大学で修学するための経費	高校 月3.5万円以内 高専 月6万円以内 短大 月6万円以内 大学 月6万円以内
所有する不動産を担保にした生活資金の貸付	土地評価額の70% 月30万円まで

これら以外にも様々な資金種別があります

◇たすけあい資金貸付事業

三戸町社協が行う貸付制度です。緊急的に必要性のある少額の資金の貸付を行います。

資金の概要	貸付限度額
緊急的に必要な少額の費用	5万円以内

◇フードバンク事業

経済的に困りの世帯に対して、無償で食料品や日用品などを提供します。

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。
(令和元年7月1日～令和元年9月30日まで)

寄附金の部

住谷野・斉会堂従業員御一同 様 10,000 円
(一社)生命保険協会青森県協会 様 軽自動車 1 台

寄せられた善意は、地域福祉活動のために使わせていただきます。

心配ごと相談所

心配ごと相談所では、相談員が心配ごとや
困りごとの相談に対応しています。ひとりで
悩まず、どんなことでもご相談ください。

- 開設日 毎月最終水曜日
- 時 間 午後1時 から 午後3時
- 場 所 三戸町総合福祉センター
ふくじゅそう3階 小会議室3

シルバー人材センター

屋内外の清掃や草取り、農作業など、身近
なお仕事がありましたら、ぜひシルバー人材
センターにご依頼ください。

シルバー人材センターの会員が真心を込め
て作業いたします。

会員随時募集中！

皆さんの経験を地域のために役立ててみませんか

オレンジカフェ ふくじゅそう

オレンジカフェは認知症になっても安心
して暮らせる地域づくりの拠点として、認
知症の人や家族はもとより誰でも安心し
て人とつながり、専門家への相談もできる
カフェです。

- 開設日 毎月第3火曜日(11月19日、12月17日)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 三戸町総合福祉センター
ふくじゅそう 地下1階
- 参加費 ひとり100円
- 事前のお申込みは不要です

職員募集のお知らせ

当協議会では一緒に働く職員を募集しています。

訪問介護員(常勤契約職員)…若干名

- 応募資格 介護福祉士又は初任者研修修了者
要普通自動車運転免許
- 勤務時間 7:00～23:00のうち8時間(シフト制)
- 休 日 週休2日(年間休日数122日)
- 給 与 月給142,000円～169,000円(処遇改善手当含)
別途、扶養手当、住宅手当、通勤手当有
- 賞 与 年2回(3ヶ月分※前年度実績)
- 福利厚生 社会保険、雇用保険、労災保険、退職金有

募集中!



- その他
すべてマイカー通勤可、無料駐車場有

訪問介護員(パート職員)…若干名

- 応募資格 介護福祉士又は初任者研修修了者
要普通自動車運転免許
- 勤務時間 8:00～18:00のうち3～6時間(シフト制)
週3日から4日
- 給 与 時給800円～1,000円 別途手当有
- 福利厚生 労災保険

- 申込及び応募方法
当協議会へ履歴書とハローワークからの紹介状
をご持参または、郵送ください。採用試験は書類
選考後面接により随時行います。

詳しくはハローワーク八戸、三戸町地域職業相
談室(アップルドーム内)または当協議会担当者ま
でお問い合わせください。

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146